

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室

TEL.093-331-6395 (交通部安全対策課)

第130号 平成28年12月

「マリンレジャー安全レポート」は、「海の安全レポート」に生まれ変わりました。

BACKNUMBER

http://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anzen_report/

今号では、七管区内で最近起きたプレジャーボートの事故事例を紹介します。

プレジャーボート回航中 岸壁に気づかず衝突！

【事故事例①】

福岡市の港から山口県の港向け航行中のプレジャーボート（船長ほか4名乗船）は、夜間に目的地の港の沖に到着しましたが、港の状況や自船の位置をしっかりと確認しないまま航行を続けたため、付近の岸壁に衝突し、衝突の衝撃で船長ほか3名が負傷（1名骨折）しました。



夜間航行するときは、港内の状況や自船の位置を確認して航行してください。



プレジャーボート帰港中 横波を受け転覆！

【事故事例②】

夕方、船釣りを終え帰港中、船溜まり付近まで戻ってきたところ、周囲は暗くなり、風、波ともに強いため、右舷にある消波ブロックの方へ流されそうになりました。同乗者3名はボートフックを使用して消波ブロックへの接近を防ごうと船の右舷側に集まったちょうどそのとき、左舷側から2メートルほどの波を受け、大きくバランスを崩して転覆してしまいました。全員自力で砂浜に上がり助かりましたが、1名が低体温症などと診断され、入院することとなりました。



小型船の場合、乗船位置によってバランスを崩す場合があります。十分注意しましょう！



☆ 冬のマリレジャーにおける事故 ☆

季節はこれから真冬を迎え、ますます北寄りの季節風が強くなりますので、天気が悪くても海上ではウネリが残り、磯場では**急な高波に襲われる**ことがあります。

また、海の安全レポート（第129号）でもお知らせしましたが、**冬季から春季にかけては、1年で最も潮位が下がる時期**となります。岩場の先端で釣りをしていたところ、帰る頃に潮がかぶって戻れなくなり岩場に孤立する事故も起きています。

マリレジャーに出かける前には、**最新の気象情報を入手**しましょう！

悪天候が予想される時は、無理な出港はやめましょう！

出港していたならば早めに帰港しましょう！

海上保安庁では、灯台で観測した気象情報など「**海の安全情報**」を提供しています。「メール登録者」には、登録されたメールアドレスに、気象情報や海上保安庁が発表する緊急情報等がリアルタイムに配信されます。

緊急情報配信サービス(電子メール配信サービス)

<http://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>

こちらのアドレスでインターネットから登録できます。



こちらの二次元コードで「ケータイ」や「スマホ」のバーコードリーダーから登録できます。

★ 今月の Topic 画像 ★

10月18日、門司海上保安部所属の「巡視船くにさき」が解役となり、新しい「巡視船くにさき」が、お目見えとなりました。



旧巡視船くにさき

「新巡視船くにさき」は、平成24年4月第十一管区海上保安本部中城海上保安部に「巡視船くにがみ」として配属され、このたび門司海上保安部に配属替となりました。

門司海上保安部の顔としてますますの活躍が期待されるところです。

「旧巡視船くにさき」は、昭和55年2月に、門司海上保安部配属となり、警備実施等強化巡視船として治安維持活動に従事し、震災時には被災地での支援活動等も行いました。36年の航続距離は、約92万キロメートル、地球を約23周したことになります。お疲れ様でした。

新しい「巡視船くにさき」です
よろしく！

総トン数 1,500ト
長さ 96メートル
船型 1,000ト型
(ヘリ甲板付)

